

事故事例研究部会委員

御 指 導 : 四日市労働基準監督署 安全衛生課長 水 谷 公 宜 様
地方産業安全専門官 中 島 賢 様
イラスト担当 : 昭和四日市石油株式会社 新 川 和 明 様

五十音順 (当該期間 2021 年 1 月~12 月)

味の素エンジニアリング(株) = 味の素(株)東海地区安全衛生協議会代表
エムイーシーテクノ(株) = 三菱ケミカル(株)三重事業所安全衛生協議会代表
山 九 (株) = J S R(株)四日市工場総合災害防止協議会代表
昭 永 工 業 (株) = D I C(株)四日市工場安全衛生協力会代表
(株) 第 一 工 務 店 = 上野製薬(株)四日市工場安全衛生協力会代表
(株) 中 部 プ ラ ン ト サ ー ビ ス = (株) J E R A 四日市火力発電所安全衛生協議会代表
東邦ガスエンジニアリング(株) = 東邦ガス(株)四日市工場安全衛生協議会代表
三 重 機 械 鐵 工 (株) = コスモ石油四日市製油所工事安全協力会代表

お わ り に

「労働災害事例研究」第41集が完成したのでお届けいたします。

令和3年の災害件数は、当連絡協議会(14協議会)に所属する会社(488社)において、休業災害11件、不休業災害26件であり、この件数は過去10年間で最も悪い成績となりました。

災害の特徴として、休業災害では「墜落、転落」、「はさまれ、巻き込まれ」、「動作の反動、無理な動作」、「転倒」がそれぞれ2件ずつ発生しており、この4つで全体の約7割を占めております。

また、不休業災害では、過去40年間で件数が上位にある「はさまれ、巻き込まれ」が5件、「有害物等との接触」が6件発生しており、この2つで全体の約4割を占めております。

私自身この事例研究に携わり9回目になりますが、振り返ってみると労働災害事例の原因の根底にあるものの多くが、危険に対する感性・意識の不足、および規則・ルールなど決められたことが守られていないことにあると考察しております。

「事前の一策、事後の百策に勝る」という言葉があります。会員の皆さま方におかれましては、本事例を他山の石としていただき、我々の仲間から絶対に怪我人を出さないという強い決意のもと、類似災害の未然防止ツールとして、危険に対する感性・意識を高める教育・訓練、また、工事の計画段階でリスクアセスメントへの織り込みなどを行い事前の一策を講じていただければ幸いです。

最後に、公務ご多忙の中、当事例研究会をご指導いただきました四日市労働基準監督署 安全衛生課長水谷様ならびにご熱心に討議いただきました各委員・関係者のみなさまに厚くお礼申し上げます。

令和4年6月

事故事例研究部会長／三菱ケミカル(株)三重事業所安全衛生協議会代表
エムイーシーテクノ(株)中部事業所 原岡 道昭